

令和6年度光化学スモッグ広報等の発令状況等について

兵庫県では、光化学スモッグによる健康被害を未然に防止するため、光化学スモッグ広報等の発令を行っています。

このたび、令和6年4月22日から10月18日までの光化学スモッグ特別監視期間が終了し、発令状況等の概要をとりまとめましたのでお知らせします。

記

1 光化学スモッグ広報等の発令状況

令和6年度の光化学スモッグ広報等の発令は、ありませんでした。

発令がないのは、昭和46年(1971年)度の広報等発令業務開始以来、2度目のことです(前回は令和3年度)。

2 光化学スモッグによる被害報告

光化学スモッグによる被害の届出は、ありませんでした。

3 令和6年度の特徴

(1) 令和6年度の光化学スモッグ広報等の発令は、ありませんでした。

この要因として、高気圧に覆われて晴れた日でも、気圧の谷や湿った空気の影響を受けることが多くあり、午後から大気の状態が不安定になったことや風が強まったことがあげられます。

(2) 4月下旬は、暖かい空気の流れ込みにより平均気温は平年よりかなり高くなりましたが、前線や湿った空気の影響で雨の日が多く、日最高オキシダント濃度が100ppbを超えることはありませんでした。

5月は、曇りや雨の日と晴れの日が2～3日の周期で現れ、低気圧や前線の影響で大雨となった日もあったため、平年より平均気温は低く、降水量はかなり多くなりました。

6月は、上旬から中旬にかけて高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、下旬は梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。13日は午後から高気圧に覆われて晴れ間が広がり、神戸、姫路、洲本(以下「3地点」とする。)での最高気温が30～31℃と平年より3～5℃高くなり、日最高オキシダント濃度が鳴尾支所で100ppbとなりました。

7月は、上旬から中旬にかけて梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。下旬は太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多くなりましたが、日最高オキシダント濃度が100ppbを超えることはありませんでした。

8月は、太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多くなりましたが、下旬は台風10号や湿った空気の影響で曇りや雨となり、大雨となった日もありました。3日は高気圧に覆われて晴れ間が広がり、3地点で最高気温が36～37℃の猛暑日となり、日照時間も9.6～12.3時間と長くなりましたが、午後から湿った空気や日射の影響で大気の状態が不安定となり、南よりの風も強まったためオキシ

ダント濃度は広報等の発令までには至らず 105ppb となりました。

9月は、高気圧に覆われて晴れた日が多く、平年より平均気温はかなり高く、日照時間もかなり多く、降水量はかなり少なくなりました。7日は高気圧に覆われて晴れ間が広がり、3地点で32～34℃と平年より2～5℃高く、特に内陸部では福崎 35.6℃や西脇 34.9℃となりました。また、日照時間も 10.7～11.9時間と長くなり、日最高オキシダント濃度が川西市役所で 100ppb となりました。

10月の月上旬は、秋雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。中旬は高気圧に覆われて晴れる日が多くなりましたが、日最高オキシダント濃度が 100ppb を超えることはありませんでした。

【参考資料】

1 光化学スモッグ広報等の発令状況及び被害届出者数の推移

発令状況及び被害届出者数の推移は、表1及び図1のとおりです。

表1 光化学スモッグ広報等の発令状況及び被害届出者数の推移

年度	予 報		注 意 報		発 令 日 数	被害の届出者数 (人)
	日数	延地域数	日数	延地域数		
平成27年度	2	8	2	5	2	0
平成28年度	1	1	1	2	1	0
平成29年度	2	4	1	1	2	0
平成30年度	0	0	2	3	2	0
令和元年度	4	25	3	15	4	0
令和2年度	1	1	2	3	3	0
令和3年度	0	0	0	0	0	0
令和4年度	0	0	1	4	1	0
令和5年度	0	0	1	4	1	0
令和6年度	0	0	0	0	0	0
過去10年の平均	1.0	3.9	1.3	3.7	1.6	—

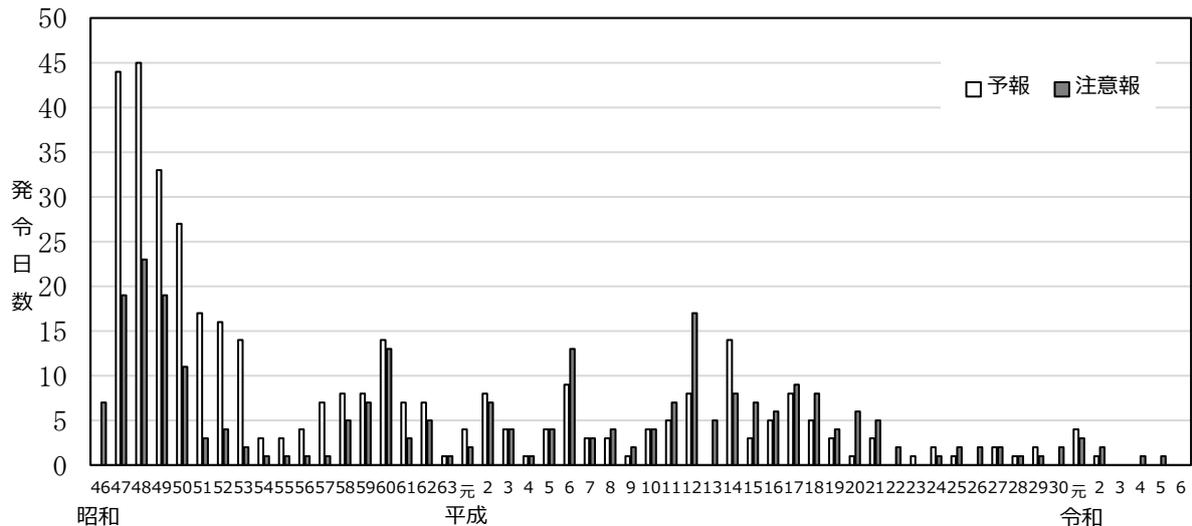


図1 光化学スモッグ広報等の発令日数の推移

2 光化学スモッグ特別監視期間中の気象状況等

(1) 梅雨入り及び梅雨明け並びに降水量

今年の梅雨入りは6月17日頃(平年は6月6日頃)、梅雨明けは7月18日頃(平年は7月19日頃)で、梅雨入りは平年より11日遅く、梅雨明けは平年より1日早くなりました。6月の初旬から中旬にかけて太平洋高気圧の張り出しが弱く、梅雨前線が日本の南海上で停滞したことにより、梅雨入りが遅れました。

梅雨入り後から7月中旬にかけて、太平洋高気圧が日本の南で強く西に張り出し、高気圧縁辺に沿って多量の水蒸気が日本付近に流れ込みやすい状況が続き、日本付近の梅雨前線の活動が活発となりました。

近畿地方における梅雨の時期の降水量平年比は120%となり、平年より梅雨の期間が短い一方、降水量の多い梅雨となりました。

(2) 最高気温（神戸）

神戸市の日最高気温の月平均値は、5月：23.2℃（平年比-0.4℃）、6月：26.9℃（平年比+0.2℃）、7月：32.1℃（平年比+1.7℃）、8月：34.5℃（平年比+2.3℃）、9月：32.2℃（平年比+3.4℃）となりました。

図2の旬別で見ると、4月下旬は、暖かな空気のため平年より高くなりました。

6月中旬及び7月上旬は、高気圧に覆われて晴れる日が多く平年より高くなりました。

7月下旬から10月中旬にかけては、高気圧の強まりに伴う暖かく湿った空気の流れ込みにより顕著な高温となりました。

(3) 日照時間（神戸）

神戸市の月ごとの日照時間は、5月：214.0時間（平年比+11.4時間）、6月：186.6時間（平年比+22.6時間）、7月：224.0時間（平年比+34.6時間）、8月：272.9時間（平年比+43.3時間）、9月：225.7時間（平年比+61.8時間）でした。

図2の旬別で見ると、4月の下旬は、前線や湿った空気の影響で平年より少なくなりました。

5月上旬、6月上旬及び中旬は、高気圧に覆われて平年より多くなりました。

6月下旬及び7月中旬は、梅雨前線や湿った空気の影響で平年より少なくなりました。

7月上旬は、高気圧に覆われて平年より多くなりました。

7月下旬から9月中旬にかけて、高気圧に覆われて平年よりかなり多くなりました。

10月中旬は、高気圧に覆われて平年より多くなりました。

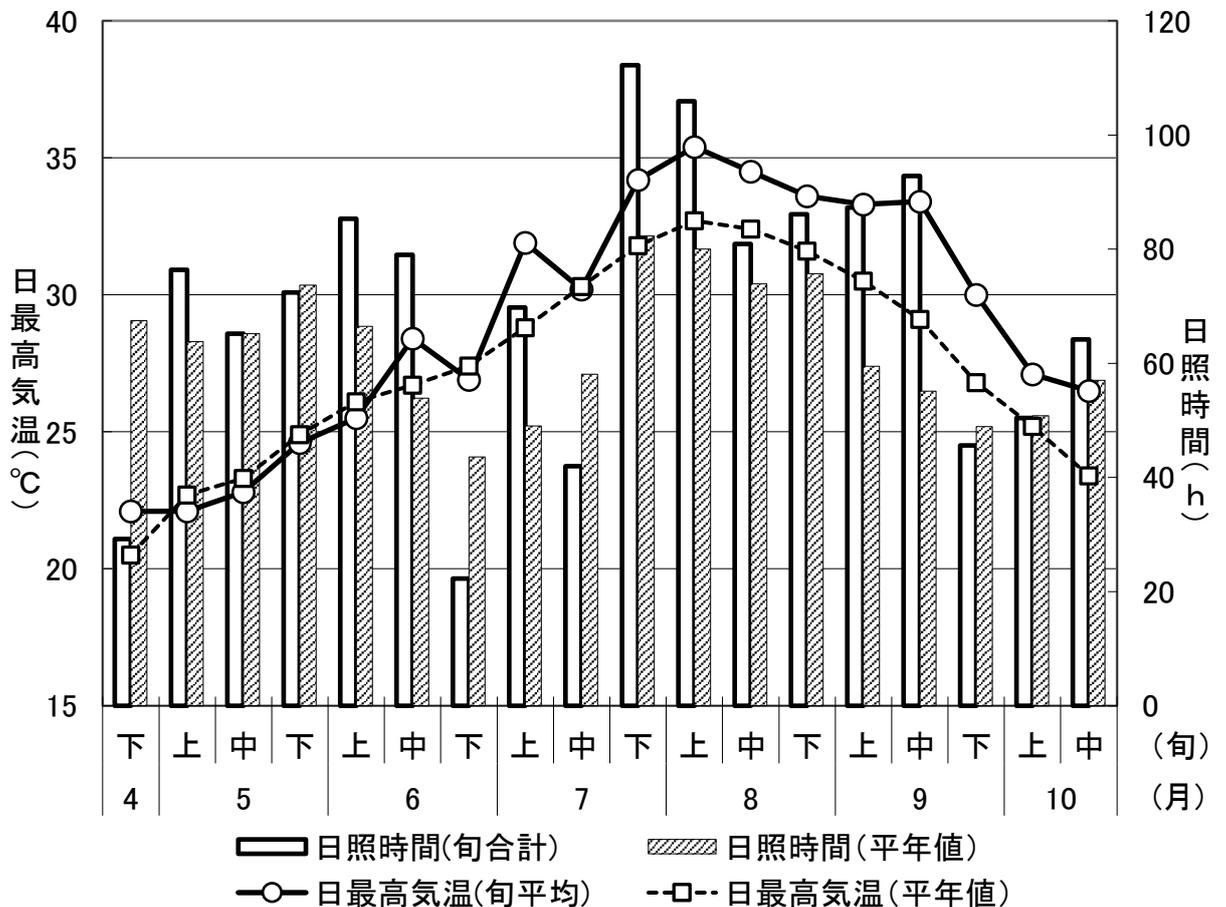


図2 令和6年度 特別監視期間中の日最高気温(旬平均)と日照時間(旬合計)【神戸】

3 光化学スモッグ広報等の発令基準及び措置の内容について

光化学スモッグ広報等の発令基準及び措置の内容は、「光化学スモッグ緊急時対策実施要領」で定めています（表2）。

表2 光化学スモッグ広報等の発令基準及び措置の内容

区 分	発 令 基 準	措 置 の 内 容
予 報	オキシダント濃度が、気象条件等から注意報の発令基準に達するおそれがあると判断したとき	<ul style="list-style-type: none">工場・事業場への窒素酸化物排出量の20%削減要請有機溶剤等炭化水素の使用抑制の要請不要不急の自動車運転の自粛要請
注 意 報	オキシダント濃度の1時間値が0.12ppm以上になり、気象条件からみて、その濃度が継続すると認められるとき	上記措置の徹底及び確認
警 報	オキシダント濃度の1時間値が0.24ppm以上になり、気象条件からみて、その濃度が継続すると認められるとき	上記措置の徹底及び確認
重大警報	オキシダント濃度の1時間値が0.40ppm以上になり、気象条件からみて、その濃度が継続すると認められるとき	<ul style="list-style-type: none">工場・事業場への窒素酸化物排出量の40%削減要請有機溶剤等炭化水素の使用抑制の要請自動車運転者への公安委員会の指示